

CUC就職白書

2023年版

千葉商科大学キャリア支援センター

—就活の本質を考える—

2023年3月卒の就職率は、99.0%（昨対+3.3pt）と、前年度に続き全国の大学の就職率（97.3%）を上回ると同時に、（確認できる限りでは）過去最高の数値となりました。大卒求人倍率1.58倍（リクルート社調べ）というほぼ売り手市場の環境も味方はしたものの、あらためて学生達の健闘を称えたいと思います。

さて、就活が本質的ではない、つまり本来の姿ではないのでは、という思いがずっと募っています。年間100回を超える学内イベントを行い、学生達の参加を執拗に促す立場にありながらです。

就活の目的は、豊かな人生を送るためだと思えます。豊かな人生は十人十色で、そのための就活もしかりのはずです。それが新卒一括採用という日本独特の採用方式のもと画一化され、就活マニュアルやハウツー本が溢れ、髪型は、スーツの色は、カバンの形は、靴は、靴下は、挨拶の仕方は等々、これでもかというくらい子細に語られています。結果、金太郎飴のようなエントリーシートを提出し、いつのまにか就活の目的が就職することになっていたりするわけです。

大学のキャリア教育が定着し、就活も多様化してはきましたが、基本的な構造は変わっていないように思えます。

新卒採用はポテンシャル採用です。企業は、応募学生の大学での学びや経験を確認しながら、企業風土に馴染むかどうか、活躍できそうかどうかを、判断します。その過程で果たして服装や髪形やマナーがどれほど影響しているのでしょうか。スーツを着れば、確かにキリッと、シャキッと好印象かもしれませんが、みんなスーツで没個性になっていることも否めません。

エントリーシートや志望動機書の作成に必要な以上に時間を要するのは、企業理解が不足していたり、作文力の問題だったりもします。前者はWebや会社説明会だけでは限界があります。特に会社説明会は表層的な説明で終わるケースも多いように感じます。後者はアウトプット力が問われ、学修成果とも連動します。個人的にはゼミナールに真剣に参加していれば、クリアできる問題だとも思えます。

まだまだポテンシャル採用が中心ではあるものの、すでに3割の企業がジョブ型採用をという調査結果もありました。新卒採用と中途採用の垣根が無くなるという話も聞きます。そうなると、新卒採用の枠が縮小していく可能性もあります。学生達は、売り手市場だからと高を括っている訳には行かなくなりません。

こうした中で就活の本来の在り方を考えると、インターンシップの重要性がますます高まると思えます。同時にその在り方も問われてきます。

理想は、長期有償型インターンシップで学生と企業の相互理解が深まり、学生はそれを複数回経験することで、就職先が決まる方式のような気がしますが、いかがでしょうか？

本白書が、みなさまと就活の本質について議論する契機になれば幸いです。

2023年10月吉日

キャリア支援センター長 川瀬 功

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

就活中に一番重要だと感じたことは、笑顔といかに企業の方のコミュニケーションが取れるかという部分でした。面接はやはり緊張してしまい、表情が固くなってしまうのでありのままの経験と自身の性格をアピールしていました。

就職に関するトピック

99%
就職率
(6P～)

19%
Uターン就職率
(8P～)

47名
公務員就職者
(9P～)

29246件
大学求人数
(10P～)

アライアンス企業に関するトピック

963社
アライアンス企業数
(11P～)

33.3%
アライアンス企業への内定率
(11P～)

イベントについてのトピック

476社
学内説明会参加企業数
(12P～)

1880名
学内説明会参加学生数
(12P～)

63.7%
インターンシップ
参加率
(14P～)

1377名
学内インターンシップ
イベント参加学生数
(14P～)

6240名
就活相談利用学生数
(16P～)

105日
イベント・講座開催日数
(13P、17P～)

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

面接前にホームページやパンフレットを読み込んでも勉強不足を感じました。友人でもキャリアの先生でも誰でもいいので質問対策をしてもらった方が絶対がいいです。第三者の意見のおかげで助けられた場面も多くありました。

■【特集】就活の本質を考える

2023年卒は学生生活の大半をコロナ禍で過ごし、今までとは全く異なる学習環境・就職活動環境を過ごしてきました。学生を取り巻く環境がどう変わったのか、そして変化の時期だからこそ考えるべき就職活動の本質について特集していきます。

■2023年卒学生を取り巻く学習環境・就職活動環境の変化

従来であればプロジェクト活動やアクティブラーニングなどを通して、専門性を深めていく2年次（2020年）に全面遠隔授業となった2023年卒の学生は、複数のオンラインツールを使い分けながらその学びを深めてきました。本学ではできる限り双方向性の担保や、対面授業の実施に努めてきましたが、多くの学生は今までと違う環境いわゆるガクチカとなる経験の機会が少なくなったり、新形態となったり、戸惑いもある学生生活を送ってきました。それに加えて、インターンシップや選考もその大半がオンラインで行われました。オンライン実施状況は下表の通りです。

内容	インターンシップ	会社説明会	面接	最終面接
オンライン実施率	66.7%	79.3%	68.1%	17.0%

キャリア支援センター調査「企業採用活動状況調査（2022年2月度調査）」より

企業に出向いて経験をする機会が少なくなったり、中には内定先の環境を実際に見たことがない学生も発生する環境に様変わりしました。

そんな中、2023年卒の就職率は99.0%と過去最高値となりました。学生にとってプラスに影響した要素もコロナ禍には生まれてきました。オンライン実施により移動にかかる時間・費用がなくなり、隙間時間で就職活動をしやすくなった点がまず挙げられます。講義やプロジェクト活動の合間にキャリア支援センター内のオンラインブースを利用した学生は年間400名超（延べ数）となり、時間の有効活用ができるようになりました。環境変化への対応力・経験が身に付いたことも、プラスの要素として挙げられます。

■【特別コラム】”就活の本質”をはるかに逸脱するオワハラに気をつけよう

新型コロナウイルスショックによる就職氷河期再来が懸念されたが、大卒者の求人倍率や内定率は堅調に推移しダメージは限定的だった。2024年卒においては1.71倍にまで回復した。売り手市場と言っている。

それでも、学生は就活で苦しんでいる。オワハラの問題だ。他社の辞退や、自社への内定承諾を強要される。最近の流行りは、自由応募であるにも関わらず、内々定通知後に教授からの推薦状を求める手法だ。中には、学長からの推薦状を要求する企業もある。表向きは人物を深く知るためだとされるが、内定辞退を防ぐための策に見える。

2023年、政府は企業への採用活動に関する要請の中に、オワハラについて明記し注意喚起を行った。推薦状の発行を原則行わないと発表した大学や、他社からのオワハラについての相談窓口を設置した企業もある。

オワハラは学生の職業選択の自由を侵害する上、心身の健康を奪うものですからある。学生が納得のいく内定を実現するためにも、オワハラを根絶しなくてはならないのだ。

（著者 常見陽平：国際教養学部准教授。リクルート、バンダイ等を経て2015年4月より現職。専攻は労働社会学。大学生の就職活動、労使関係、労働問題、キャリア論、若者論を中心に、執筆・講演など幅広く活動中。平成30年参議院経済産業委員会参考人、厚生労働省「多様な選考・採用機会の拡大に向けた検討会」参考人、「今後の若年者雇用に関する研究会」委員、第56回関西財界セミナー問題提起者などを務め、政策に関する提言も行っている。）

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

私が就活をしていて重要だなと思ったことは、「自己分析」と「企業研究」、「とにかく行動をおこす」ことです。自分のこれまでの経験をひたすら遡って書き出したり、会社説明会時のメモやHPを繰り返し見ることが大切だと思いました。

■【特集】就活の本質を考える

■ 2025年卒対象のインターンシップの制度改革

2022年4月に経済産業省・文部科学省・厚生労働省による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方（三省合意）」で、インターンシップが4つのタイプに新たに定義されました。以下にインターンシップの新定義を紹介します。

【学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組の四つの類型】

類型	タイプ1 オープン・カンパニー	タイプ2 キャリア教育	タイプ3 汎用型能力・専門活用型 インターンシップ	タイプ4 高度専門型 インターンシップ
概要	企業・業界理解等を目的としたイベント・説明会	産学協働プログラム等	学生の能力開発や適性確認を目的としたインターンシップ	高度専門性実践等を目的とした大学院生向けインターンシップ
就業体験有無	問わない	問わない	必須 5日間以上等期間基準あり	必須 2ヵ月以上と期間基準あり
採用活動への情報活用	不可	不可	可	可

参考：インターンシップの推進に当たっての基本的考え方 <https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220613002/20220613002.html>

インターンシップが主流となっている就活事情を背景に、就活の本質を考えるのであれば、当然インターンシップの本質も考える必要があります。本改革により就業体験を伴わないものはインターンシップと呼称しないこととなりましたが、働くことや未来のイメージをつけることができるのは、就業体験が最も有効な手段です。断片的な選考のみではなく、インターンシップを通して学生の素を理解し、企業の採用活動も本質を捉えられるよう、大学も情報発信をしていきます。

■ キャリアスキルシート「AKINAI（あきない）」



2023年3月より、新たな取り組みとして本学独自のキャリアスキルシート「AKINAI」の運用を開始しました。AKINAIでは、学生自身が学生生活を振り返り、経験や活動実績、資格取得など身につけたスキルを整理して可視化していくことによる自己分析ツールとして、また、企業に提出することで、履歴書・エントリーシートに書ききれないエピソードや人柄をアピールするためのアウトプットツールとして利用できます。

2023年7月時点で2025年卒学生の入力率は82.8%、積極活用意向を示した企業は64.1%（本学独自調査「企業採用活動状況調査（2023年4月度調査）」回答企業586社中）となり、今後は活用実績を増やしていく支援をしていきます。

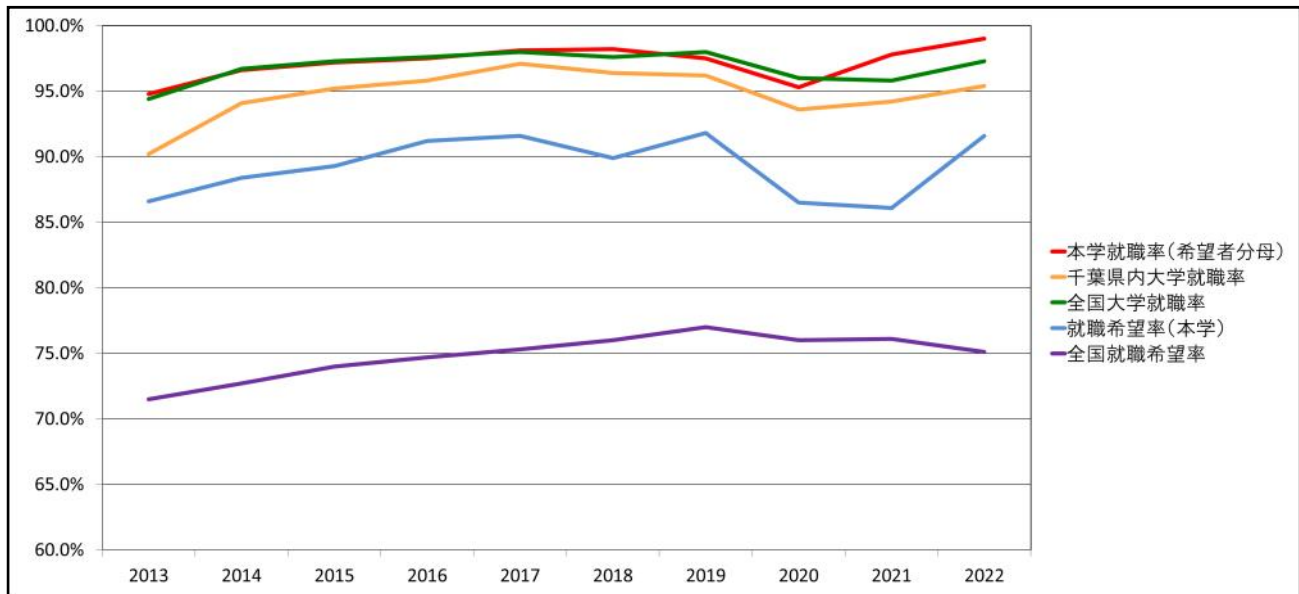
■ 就活の本質とは

本特集の「就活の本質を考える」は、2023年度CUCアライアンス企業フォーラムのタイトルにもなりました。前提として、就活のためのインターンシップ、マニュアル化された選考対策など現在の就活へのクエスチョンを掲げています。現在は提出書類の主流であるエントリーシートを、企業によっては学生の内面が見えてこないと考え、提出不要とする動きも出始めています。本来の目的に立ち返れば、学生にとっては豊かな人生を送ること、企業にとっては企業成長を続けることが、就活・採活をする理由であり、その本質を主体的に考え、行動できる支援を大学は取り組み続けていきます。

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

何でもいいですから「学生時代に頑張ったこと」を1つでも持っておくのが重要です。絶対に面接のときに役立ちます！自分の経験は自分でしか話せません。ですから悩んでも自分の言葉で話すことを忘れないでください。

◆全国平均を超える就職率



年度	就職率(本学)	商経学部	政策情報学部	サービス創造学部	人間社会学部	国際教養学部	千葉県内大学就職率	全国大学就職率	就職希望率(本学)	全国大学就職希望率
2013	94.8%	94.3%	92.9%	99.3%	-	-	90.2%	94.4%	86.6%	71.5%
2014	96.6%	96.3%	95.7%	100.0%	-	-	94.1%	96.7%	88.4%	72.7%
2015	97.2%	96.8%	97.3%	99.3%	-	-	95.2%	97.3%	89.3%	74.0%
2016	97.5%	97.3%	96.6%	99.4%	-	-	95.8%	97.6%	91.2%	74.7%
2017	98.1%	98.2%	93.8%	100.0%	100.0%	-	97.1%	98.0%	91.6%	75.3%
2018	98.2%	98.3%	93.8%	100.0%	98.8%	100.0%	96.4%	97.6%	89.9%	76.0%
2019	97.5%	97.0%	96.3%	100.0%	96.3%	100.0%	96.2%	98.0%	91.8%	77.0%
2020	95.3%	94.5%	89.5%	98.9%	97.2%	95.4%	93.6%	96.0%	86.5%	76.0%
2021	97.8%	98.0%	94.5%	99.5%	96.4%	100.0%	94.2%	95.8%	86.1%	76.1%
2022	99.0%	99.2%	96.5%	100.0%	98.8%	98.5%	95.4%	97.3%	91.6%	75.1%

2022年度の全国大学就職率は97.3%、就職希望率は75.1%と、就職率については2021年度から上昇しました。コロナ禍の影響が減少していく中、企業の高い採用意欲を背景に就職率は上昇傾向にあります。

本学の就職率は2021年度から1.2%増の99.0%と、過去最高の就職率となりました。様々な感染対策を講じながら対面で企業説明会や就活講座等の学内イベントを実施したり、参加人数が多い場合はオンラインでイベントを実施する等、ウィズコロナの中で適切な就職支援を続けた結果と考えています。

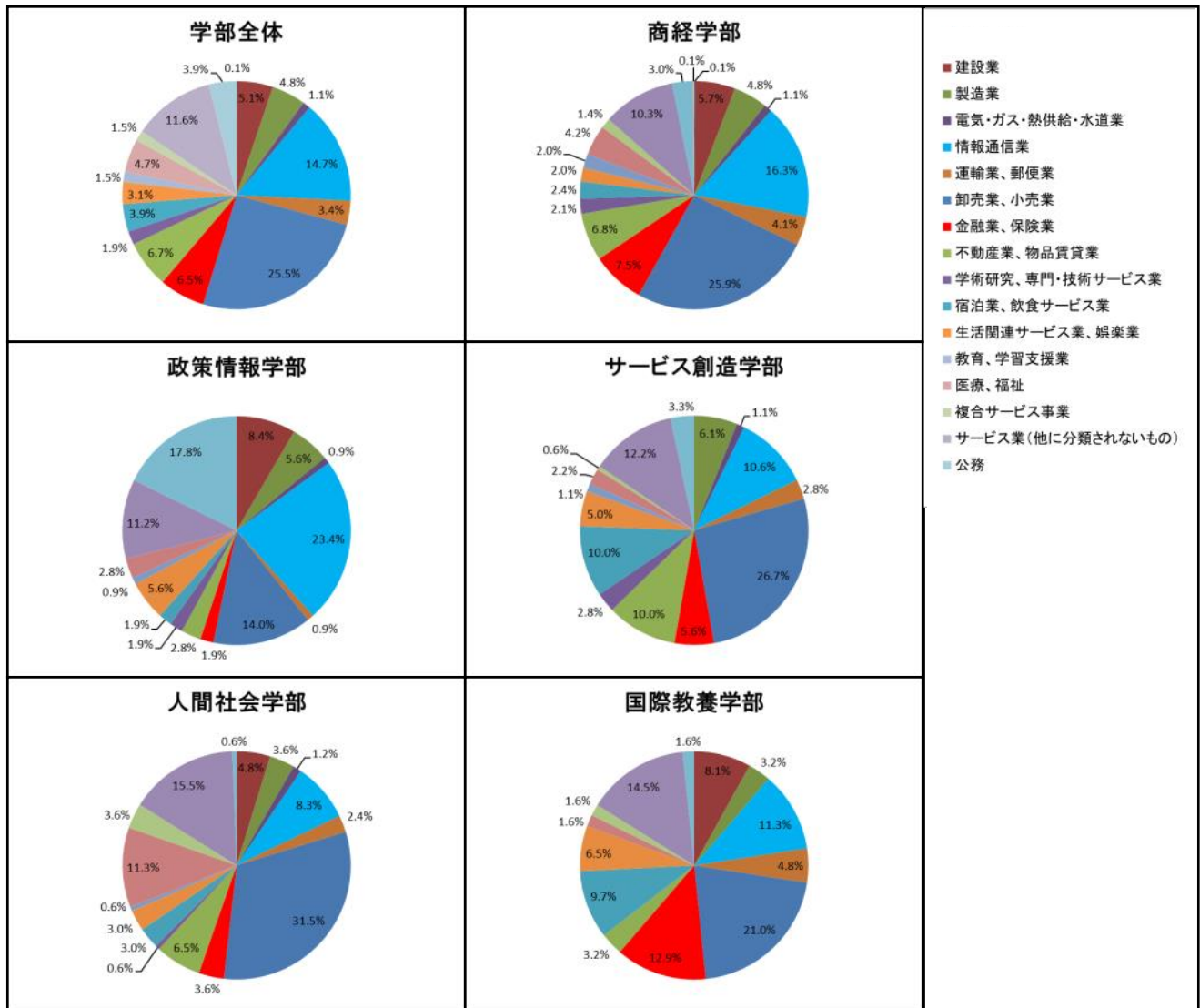
就職希望率についても91.6%と5.5%増加し、コロナ禍前の水準に戻りました。全国平均と比較して約15%上回る数字となっており、就職希望率が高い事は、実学を掲げる本学の特徴でもあります。

アフターコロナの中で全国的に就職率が高い水準で安定することが予想され、今後は今まで以上に企業と学生のマッチング精度を高めることが、大学キャリア支援センターの支援に求められると考えられます。

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

業界が定まっていない場合は、自分の就活の軸を中心にたくさん見てみるといいと思います。こんなにたくさんの企業を見る機会はこの先の人生ではないと思うのでたくさん見てみてください。

◆2022年度卒業生における就職先業界比率



全体の傾向としては依然として専門商社、小売販売を中心とした業界へ、営業職、販売職として就職する学生が多い傾向にあります。昨年と比較すると建設業、製造業の割合が減る一方で公務、不動産の割合が増加しました。公務については2020年頃から増加傾向が続いています。

また、特徴的な数字としては政策情報学部の公務員への就職割合が17.8%、情報通信業への就職割合が23.4%、人間社会学部の医療・福祉業界への就職割合が11.3%、国際教養学部の宿泊業への就職割合が9.7%となっており、各学部の特徴が出た数字となりました。

今後も各学部の学びを活かし、学生が満足度の高い就職先に出会えるよう支援を行っていきます。

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

私は、日頃からニュースを見て見聞を広めていました。そのことが、就職先を決める際や面接においても、社会情勢を見据えた観点は強い武器になりました。

◆ 2022年度卒業生におけるU | ターン就職状況

県名	出身者	U ターン就職者	就職率
茨城	111	21	18.9%
新潟	33	10	30.3%
福島	31	6	19.4%
静岡	30	7	23.3%
長野	27	7	25.9%
岩手	17	3	17.6%
群馬	16	2	12.5%
青森	15	2	13.3%
栃木	11	4	36.4%
山形	11	4	36.4%
宮城	10	1	10.0%
北海道	8	0	0.0%
秋田	7	0	0.0%
沖縄	6	2	33.3%
富山	5	0	0.0%
山梨	4	1	25.0%

県名	出身者	U ターン就職者	就職率
兵庫	3	0	0.0%
石川	3	0	0.0%
福岡	3	0	0.0%
鹿児島	3	0	0.0%
和歌山	3	0	0.0%
大阪	3	0	0.0%
三重	3	0	0.0%
愛知	2	0	0.0%
宮崎	2	0	0.0%
香川	1	0	0.0%
大分	1	0	0.0%
高知	1	1	100.0%
愛媛	1	0	0.0%
熊本	1	0	0.0%
佐賀	1	0	0.0%
鳥取	1	0	0.0%
合計	374	71	19.0%

※就職率は各県の出身者数を分母とした率となります。

本学生の出身都道府県（出身高校より）は千葉県、東京都、茨城県、埼玉県が多くを占めており、就職先は東京都に本社を置く企業が大半です。地方出身学生へのU | ターン就職支援については、各自治体が取組んでいる「U | ターン就職促進協定」を活用するなど、きめ細かい個別求人マッチングを実施しております。現在13道県、1市(新潟県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、長野県、岩手県、秋田県、北海道、青森県、山形県、宮崎県、新潟県小千谷市、宮城県)との間で協定を締結しています。

具体的な支援活動としては、各自治体が主催している地元企業の採用担当者から直接求人を受け取れる情報交換会や地元企業見学会などへ本学職員が積極的に出席をしており、即時学生に紹介していく体制を整えています。学内企業説明会に各自治体のブースを設けたりU | ターンの学内イベントを開催したりと学内外での連携を深めていくことで、U | ターン就職を希望している学生の支援充実を図っています。また学生向けにU | ターン専門チャンネルを開設し、大学に寄せられた各県の情報を学生向けに発信しています。

◆ U | ターン就職協定締結実績について

- 長野県：U | ターン就職促進協定(平成27年2月23日)
- 栃木県：U | ターン就職促進協定(平成27年9月2日)
- 群馬県：ぐんまU | ターン就職支援協力校制度「G | ターン倶楽部」(平成27年9月12日)
- 新潟県：U | ターン就職促進協定(平成27年12月16日)
- 茨城県：大好きいばらきU | J | ターン・定着応援“くらぶ”(平成28年1月25日)
- 福島県：大学・福島県との「学生就職支援に関する協定」(平成28年2月2日)
- 岩手県：岩手U | ターンクラブ(平成30年6月16日)
- 秋田県：秋田県と千葉商科大学との就職支援に関する協定書(平成31年2月8日)
- 北海道：北海道と千葉商科大学との学生U | J | ターン就職促進に関する協定書(令和元年9月3日)
- 青森県：青森県と千葉商科大学との学生U | J | ターン就職促進に関する協定書(令和元年9月9日)
- 山形県：学生U | ターン就職促進に関する協定書(令和2年2月18日)
- 宮崎県：宮崎県と千葉商科大学とのU | J | ターン就職支援に関する協定書(令和3年10月25日)
- 新潟県小千谷市：千葉商科大学と小千谷市との就労連携に関する協定書(令和3年11月29日)
- 宮城県：宮城県と千葉商科大学との就職支援に関する協定書(令和5年9月1日)

先輩からのワンポイントアドバイス(就職活動報告書より抜粋)

上場企業を志望している場合は、企業のHPに株主総会の録画や資料が残っている場合があるので事前に目を通すことで企業がいま課題に感じていることや今後の戦略を理解できると思います。

◆2022年度卒業生における公務員就職状況

就職先	人数	就職先	人数
千葉県警察本部	7	世田谷区役所	1
墨田区役所	3	旭市役所	1
松戸市役所	2	足立区役所	1
浦安市役所	2	江東区役所	1
静岡県警察本部	2	白井市役所	1
船橋市役所	2	千葉市役所	1
皇宮警察本部	1	警視庁	1
福島県庁	1	秋田県警察本部	1
我孫子市役所	1	福島県警察本部	1
八千代市役所	1	東京消防庁	1
練馬区役所	1	船橋市消防局	1

◆学部別公務員就職者数

商経学部	政策情報学部	サービス創造学部	人間社会学部	国際教養学部
20	19	6	1	1

昨年は就職者数が減少した千葉県警察ですが、2022年度は一転して就職する学生が多い結果となりました。2020年度から公務員への就職希望者が増加していることもあり大学全体でも公務員試験対策を強化し、各種講座を用意しています。

近年の公務員試験では、一部の自治体において専門の学科試験を実施しないなど、面接やグループディスカッションを重視していく傾向にあることから、各自治体の試験内容を確認することが、公務員を志望する上で重要になっています。

キャリア支援センターでは公務員を目指している学生への面接指導にも力を入れています。今後は、特に公務員試験対策に力を入れる政策情報学部の取組みなどによりさらに公務員への就職希望者が増加する事が予想されますので、より一層支援に力を入れていきます。



※2021年4月 学内にて柏・船橋東警察署による「採用説明会&相談会」

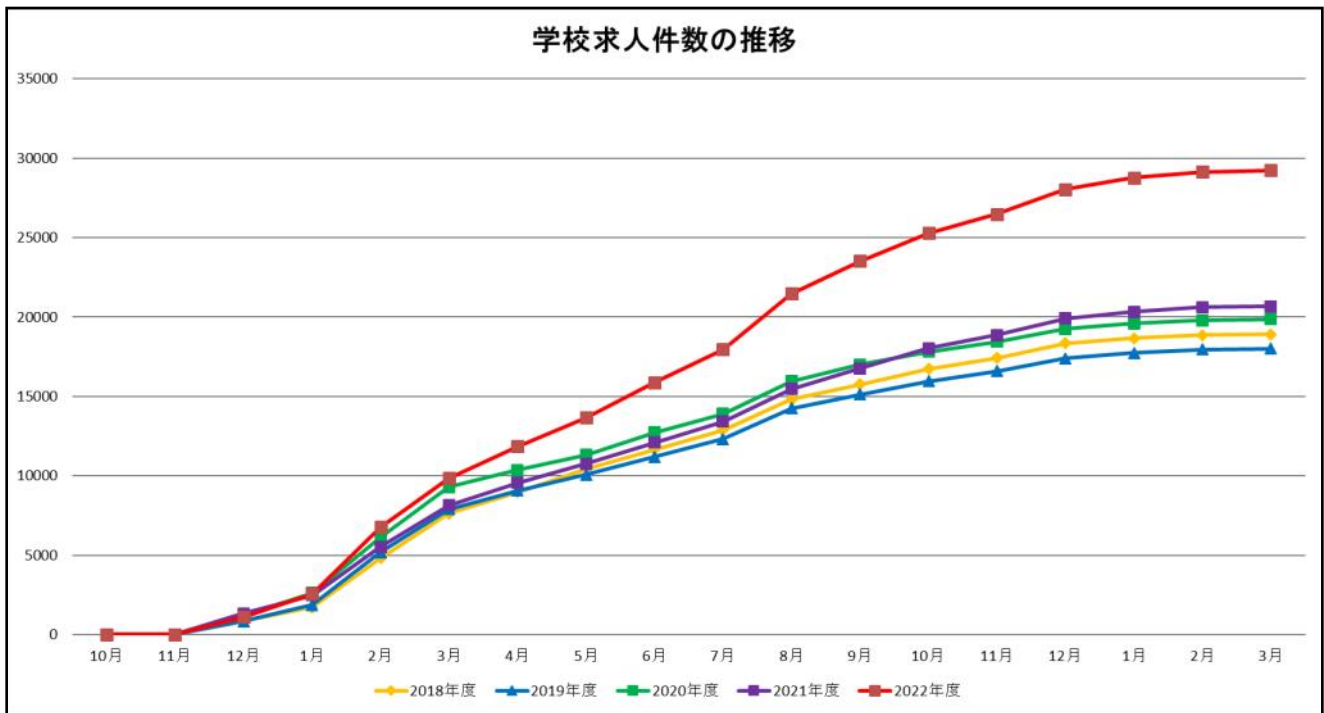


※2020年7月 キャリア支援センター内にて柏警察署による「相談会」

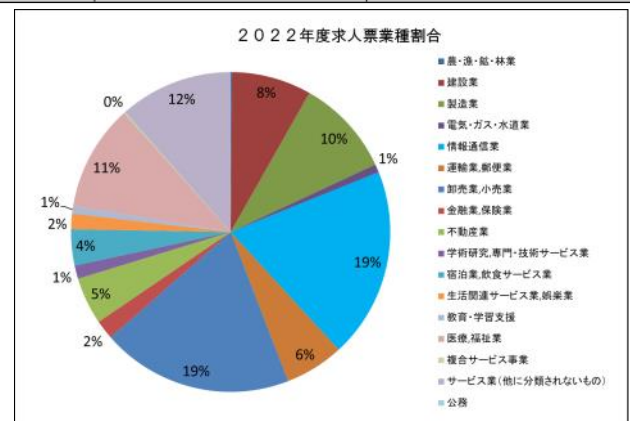
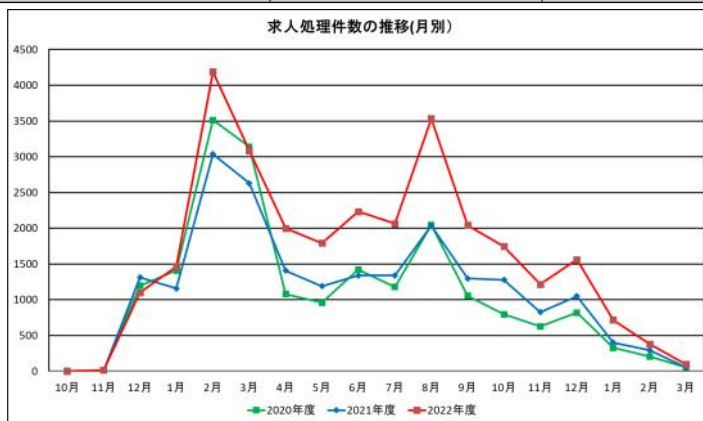
先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

どの企業に進むにしても面接の対策は誰よりも時間をかけるつもりで頑張りましょう。面接が2回以上ある方は前回の面接での逆質問を利用して話す事が出来ると志望度が高いと思われます。

■学校求人件数の推移



2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
18907	18012	19849	20671	29246



2022年度の学校求人の件数は昨年から大幅に増加し3万件に近い件数となりました。企業の高い採用意欲、そして選考の母集団形成に苦労されている様子が伺えます。

月別の傾向として全体の求人件数が約1.5倍になったことから2月以降の各月で昨年を大きく上回る数値となっています。特に8月の求人件数が多く、各企業が夏以降も採用活動を継続している影響と考えています。

また、本学では求人票の受付け及び公開についてWebサービスを中心に実施しており、学生はインターネット環境があれば大学に届いた求人を見ることが可能です。

本学に求人票を送付いただいている企業の業種としては卸売業・小売業、情報通信業、サービス業の割合が高い状況です。

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

逆質問は企業を知るチャンスでもありますし、志望度が高いかどうかを見定められている時間でもあります。逆質問の時間が多く取られることもあるので出来るだけたくさん考えておくといいです。

◆CUCアライアンス企業は順調に拡大中

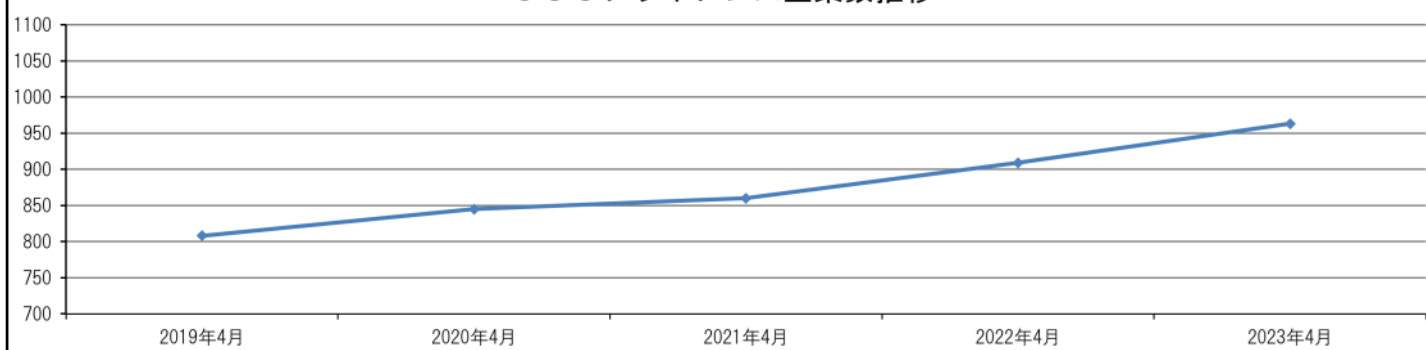
千葉商科大学では「企業と大学が連携して、社会に貢献できる人材を送り出す」という趣旨にご賛同頂き、本学学生の採用や育成に積極的な企業をCUCアライアンス企業としています。

2008年にCUCアライアンス企業発足記念フォーラムを開催し、CUCアライアンス企業ネットワークが誕生しました。以降、インターンシップや各種キャリアイベントにご協力いただくことで、学生の気づきの機会となり、その後の学生生活や就職活動に大きな効果をもたらしています。

設立初年度に約130社で開始した企業ネットワークは、2023年4月には963社となり、順調にその広がりをみせています。

今後は、事業の市場優位性や経営状態、働きやすさ、SDGsへの取組みなどの視点から優良企業を開拓していく予定です。

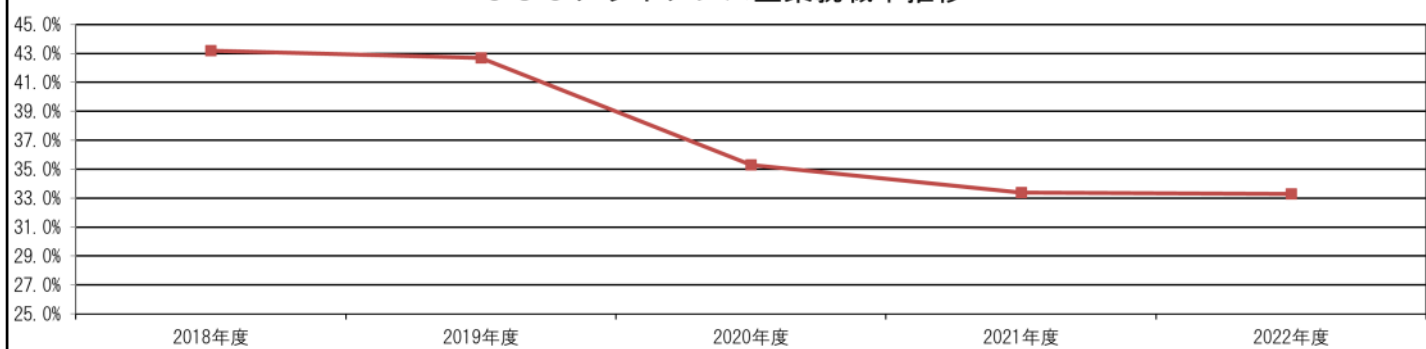
CUCアライアンス企業数推移



年	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月
企業数	808	845	860	909	963

※各年4月1日時点

CUCアライアンス企業就職率推移



年	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
就職者数	420	468	357	369	386
就職率	43.2%	42.7%	35.3%	33.4%	33.3%

※CUCアライアンス企業就職率 = (CUCアライアンス企業への就職者) / (企業への就職者)

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

自己分析をしておくことをおすすめします。面接やESでは自分自身について問われるので、短い時間で自分の人柄を伝えるには必要不可欠だと思います。また、簡単でいいので受ける企業の活動報告書は、目を通しておくといいと思います。

◆ 2022年度学内合同企業説明会の実施状況

適職発見セミナー及び学内合同会社説明会実施状況

	開催年度	開催日数	参加企業数	参加学生数
2018年3月卒業予定者対象	2017年度	23	667	3723
2019年3月卒業予定者対象	2018年度	24	666	3657
2020年3月卒業予定者対象	2019年度	19	574	3517
2021年3月卒業予定者対象	2020年度	11	292	1665
2022年3月卒業予定者対象	2021年度	31	385	1916
2023年3月卒業予定者対象	2022年度	24	476	1880



例年、広報活動の開始時期(2月)前後に、約250社の企業を集めて開催する適職発見セミナーをはじめとして、本学が主催の合同企業説明会を学内で実施しています。合同企業説明会は、学生と企業とのマッチングの機会を持つためのイベントとなっていますが、近年では低学年向けに実施するインターシップやオンラインを利用した企業説明会が増加するなど、就職活動の早期化や多様化が進んでおり、2015年以降参加学生は減少傾向にあります。2022年度も引き続き新型コロナウイルスの影響が残る中で、オンラインと対面を使い分けながらのイベント運営となりました。教室の収容人数制限がある中で、できる限り対面でイベントを開催できるよう工夫を重ねています。

就職活動が多様化する中で、本学では学内合同企業説明会において企業側が学生へ声をかけて企業ブースへ呼び込む仕組みとなる逆オファー制度を2017年度から導入、2019年度から新たに「me R A I」というWebサービスを立ち上げました。これは、企業と学生双方がさらにオファー制度を利用しやすくするサービスで、この「me R A I」を中心に、今後主流となっていくと思われるリアルでの就職活動とオンラインでの就職活動を組み合わせた、ハイブリッド型の就職活動への対応をさらに強く推進していきます。

「me R A I」については定期的にオファー期間を設け、学生と企業の交流の活性化をはかっています。最新の24卒向けのオファーでは73社の企業から4000件を超えるオファーを頂きました。学生も約8割の学生が「me R A I」に登録しており、実際に「me R A I」のオファー経由で内定に結びついた事例も多くあります。

今後は「me R A I」を始めとしたオンラインツールを効果的に利用しながら、学生と企業のマッチング強化や学生のスキルアップを図っていきます。

先輩からのワンポイントアドバイス (就職活動報告書より抜粋)

面接では自分の一貫性を伝えるべきだと思います。自己分析をしっかりと行い、話す内容に一貫性を持たせることが出来れば納得感が得られます。面接を通してどういうキャラクターをアピールしていくか、戦略を建てていくことをオススメします!

■学内就職関連イベントの実施状況

◆2022年度3年生向け「就勝！実践講座」の実施状況

就勝！実践講座参加学生推移

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
参加学生（延べ）	4650	231	2548	4190

※2020年度は参加者数のカウントができる実施形態が1回のみだったため、参加人数が少なくなっています。

就勝！実践講座のスケジュールと内容

3月	スタートダッシュ編
4月	基礎編
5月	インターンシップ講座
6月	行動量・モチベーションアップ講座
8月	夏休み講座
10月	秋学期講座
1月	決起会
2月	これから始める方向け就活講座
3月	これから始める方向け就活講座



例年、3年生になるとほとんどの学生が参加する「就勝！実践講座」。この講座では、就職活動の事前準備が計画的に進められるように、各時期に実施しておくべき準備について数回に分けて解説しています。なるべく多くの学生が参加できるように、どの回も複数日実施しています。

講座の内容は、普段多くの学生と接しているキャリア支援センターの職員と大手ナビサイトが協力して作成しています。学生の就職活動に対する疑問や不安の解消、モチベーションの維持・向上を重視しており、動画を使用した解説やゲストスピーカーとして内定者や企業の方を招くなどの工夫をしています。もちろん、最新の就職活動に関する情報も発信しています。各回の具体的な内容は、上の表をご覧ください。

2022年度は、新型コロナウイルスの影響が残る中での実施となり、前半はオンラインでの開催となりました。3年生への就活イベントは特に学生の就活モチベーションに影響すると考えていますので、学生が良い就活のスタートを切れるようモチベーションの向上を目的に支援していきます。

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

しっかりと対策をした上で面接に望むこと、志望度が低い企業だからといって手を抜かない。その方が面接に役立つ能力が身に付くと思う。

■インターンシップについての取組み

◆2022年度インターンシップの参加率は大幅増

近年の就職活動では、インターンシップに参加することは、当たり前になってきました。インターンシップとは、各企業が学生向けに就業体験や会社見学・セミナーなどを実施するイベントです。対象学年も就職活動本番を控えた3年生だけではなく、低学年から参加できるものも多く実施されています。今後もますます実施企業が増えることが予想されます。

インターンシップに参加する目的は、就業体験を通じて、自分はどのような仕事に就きたいのか、働く上で大切にしたい企業選びの軸や基準を見つけてもらうことであると考えます。新型コロナウイルスの影響で大規模な説明会の開催が困難となったことから、インターンシップに参加した学生に選考を案内する企業が見受けられますので、よりインターンシップの重要性が増しています。

2022年度に卒業した学生のうち、63.7%の学生がインターンシップに参加しました。インターンシップの重要性が増していく中で、3年生はもちろん、今後は1、2年生についてもインターンシップに参加しやすい環境を用意していきます。

学生インターンシップ参加状況				
卒業年度	学生数	インターンシップ参加	インターンシップ不参加	インターンシップ参加率
2018年度	1153	780	373	67.6%
2019年度	1281	823	458	64.2%
2020年度	1318	865	453	65.6%
2021年度	1372	717	655	52.3%
2022年度	1376	876	500	63.7%

また、大学と企業・自治体などが協定を結び実施するオープンインターンシップについては、主に市役所などの公務・官公庁と銀行などの金融機関で実施しており、毎年約40名の学生が参加しています。2020年度から、各インターンシップが新型コロナウイルスの影響で中止となっていました。2022年度は本格的に再開の流れとなり多くの学生が参加することとなりました。商大生が参加しやすいインターンシップの枠となりますので、今後も各自治体、企業と協力してオープンインターンシップの取組みを広げていく予定です。

オープンインターンシップ/準オープンインターンシップ実施状況		オープンインターンシップ/準オープンインターンシップ実施企業	
年度	参加学生	・千葉県庁	・佐倉市役所
2018年度	24	・千葉市役所	・日光市役所
2019年度	40	・水戸市役所	・千葉県警
2020年度	6	・横手市役所	・松戸市消防局
2021年度	11	・松戸市役所	・我孫子市消防本部
2022年度	35	・牛久市役所	

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

夏インターン前からしっかり対策していれば、大手のインターンも複数参加できます。インターンに参加することで、早期選考や選考スキップの優遇が貰え、内定に近づくことが出来ます。

■インターンシップについての取組み

◆2022年度インターンシップ関連イベントの実施状況

開催年月	開催日数	参加学生数	参加企業数
2016年5月	4日間	2278名	95社
2016年11月	4日間	1000名	121社
2017年5月	4日間	1661名	104社
2017年10月	4日間	810名	114社
2018年6月	4日間	2064名	109社
2018年12月	4日間	877名	111社
2019年6月	4日間	2014名	109社
2019年12月	4日間	845名	110社
2020年7月	3日間	261名	10社
2020年12月	4日間	291名	70社
2021年5月	2日間	1243名	80社
2021年12月	3日間	872名	104社
2022年6月	2日間	1147名	99社
2022年12月	2日間	472名	79社
2023年6月	5日間	1377名	155社

◆インターンシップ関連イベントの実施

本学では、学生がインターンシップに参加するための支援として、インターンシップ実施企業による合同企業説明会(インターンシップフェスティバル)や選考のあるインターンシップに参加するためのES対策講座、夏休み講座など、様々なイベントを企画しています。

インターンシップフェスティバルは現在春と秋に年2回開催しており、2023年度の春は過去最大の約150社の企業を学内にお呼びし、延べ1377名の学生が参加する大きなイベントとなりました。企業、学生双方のインターンシップに対する熱意が上がってきていることもあり、非常に充実した内容となっています。今後は低学年への支援を通じて1、2年生の参加を増やしていきたいと考えています。



先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

インターンシップを行った際にいい反応をしていた人がいたと思ったらすぐ真似をしていました。逆に悪い例も見かけることがありますので、先方に失礼がないように気を張っていました。

就活相談利用学生数

年度	延べ人数	実人数
2018年度	6211	1408
2019年度	5855	1368
2020年度	5967	1176
2021年度	7204	1513
2022年度	6240	1460

キャリア支援センターでは5名のキャリアアドバイザーが常駐し、一日約50枠（1枠：30分）の相談枠を設けて学生の相談に応じています。

例年、2月～6月は相談数が多く、相談の予約が取り難い状況が続いています。2022年度はキャリアアドバイザーが1日6名となる曜日を設けるなど、学生の相談機会を増やしています。

卒業生における就活相談利用率推移

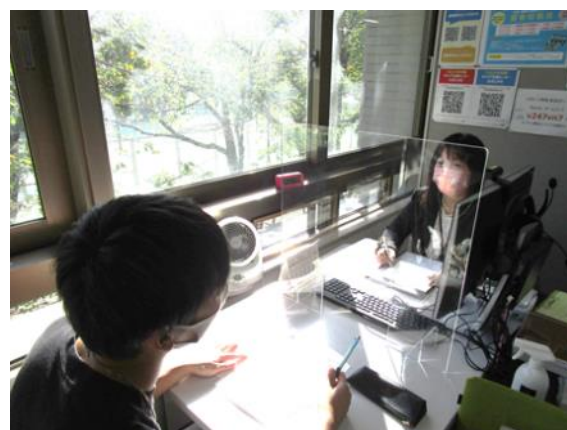
年度	卒業生数	就活相談利用者	就活相談利用率	就活相談回数	平均利用回数
2018年度	1153	796	69.0%	5896	7.4
2019年度	1281	892	69.6%	5614	6.3
2020年度	1318	843	64.0%	5986	7.1
2021年度	1372	791	57.7%	6287	7.9
2022年度	1376	931	67.7%	6293	6.8

就活相談の卒業生利用率は67.7%と昨年から一転して大きく上昇しました。売り手市場ということもあり、平均利用回数は若干下がったものの多くの卒業生が就活相談を利用し、内定を獲得しています。

就活相談 相談内容（全学年）

相談内容	就職活動とは	自己分析	企業研究	履歴書ES	面接相談	GDGW相談	内定相談	特定の就職活動	求人紹介	その他	インターンシップ	meRAI
2018年度	486	113	296	3812	1283	39	314	154	126	779	318	-
2019年度	682	81	335	3045	1322	44	311	197	98	632	402	29
2020年度	553	125	255	2144	1669	38	403	137	209	719	354	390
2021年度	591	170	341	2255	2272	43	432	180	282	753	420	560
2022年度	484	132	236	2231	1842	39	481	174	143	761	414	337

就活相談では就職活動の進め方から自己分析の方法、求人紹介、採用試験対策、模擬面接、内定後のフォローなどあらゆる内容で学生の就職活動をサポートしています。2022年度は面接・WEB面接についての相談や求人紹介の相談が減少しました。一方で履歴書ESに関する相談については相談件数を維持しており、内定取得後の相談については増加傾向にあります。



先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

面接で聞かれた質問などを書き起こして次どう答えるか自分の中で明確にさせておいた方が良い。面接の度に振り返りを必ず行っていけば、面接自体にも慣れ受かる回数も増えていくと思う。とにかく経験。

2022年度就活スケジュールと本学就職支援

2022年度（2022年4月～2033年3月） キャリア支援センター就職支援スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年生	キャリアガイダンス					
2年生		インターンシップ・フェスティバル				
3年生	ナビサイト一括登録会	インターンシップ講座①	エントリーシート対策講座	エントリーシート対策講座	政策情報学部夏休み就活講座	夏休み就活講座
	就勝！実践講座基礎編	インターンシップ講座②	就活行動量アップ講座			
	ゼミ訪問		就活モチベーションアップ講座			
4年生		学内合同企業説明会	経理職限定学内合同企業説明会	学内合同企業説明会	電話調査	学内企業説明会&選考会
			模擬面接会	留学生対象就活ガイダンス&合同企業説明会		9月卒対象就活ガイダンス
				留学生対象就活特別相談会		
全学年共通	警察官採用説明会			障がい等のある学生のためのキャリアガイダンス		
			グループ相談会	警察官&消防士説明会		
			グループ相談会	グループ相談会	就活相談	
一般的な動き 24卒 (3年生)	企業		インターンシップ	サマーインターンシップ開催		
	学生	ナビサイト登録	インターンシップ			
一般的な動き 23卒 (4年生)	企業	(3月) 広報活動(説明会) 開始			内々定	
	学生				採用、選考活動(筆記試験、面接) 開始	

※「一般的な動き」の企業の部分については就職・採用選考活動に関する申合せにもとづいた企業の動きとなります。外資系及びベンチャー企業、一部マスコミ等については異なるスケジュールとなります。

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

面接では文章を丸暗記するのではなくキーワードで伝え、詰まりながらも面接官に響く面接をするよう心がけた。内々定をいただけた時に、文を丸暗記するのではなく自分の言葉で伝えてくれたのが良かったと好評をいただいた。

2022年度（2022年4月～2023年3月） キャリア支援センター就職支援スケジュール

10月	11月	12月	1月	2月	3月
		インターンシップ・フェスティバル	就活講座	就活講座	
	メイク・身だしなみセミナー			適職発見セミナー	学内企業説明会
秋学期 就勝！実践講座	履歴書・エントリーシート書こう		就勝！実践講座～決起会～	これからはじめる人向け就活講座	これからはじめる人向け就活講座
面接対策講座	模擬面接 模擬GD		ミライアンス企業セミナー	自己PR動画対策セミナー&撮影会	なんでも質問会
ゼミ訪問			me R AI強化週間	なんでも質問会	me R AI オファー企画
学内合同企業説明会	me R AI オファー企画	学内企業説明会 & 選考会	学内企業説明会 & 選考会		3月卒対象 就活ガイダンス
				電話調査	
ゼミ訪問			個別求人紹介イベント		
女性起業家セミナー	CUCアライアンス企業フォーラム キャリアデザイン研修				警察官採用説明会
就活相談					
	インターンシップ	ウインターインターンシップ開催			
	インターンシップ				プレエントリー、説明会への参加
内定式					
採用、選考活動（筆記試験、面接）開始					

先輩からのワンポイントアドバイス（就職活動報告書より抜粋）

私は就職活動全般において「人と比べない」ことを意識していました。人と比べることをやめて自分のペースで自分に自信を持って取り組むようになってから、面接の通過率も上がり内定獲得につながりました。

